国海員第284号の2
平成26年12月18日

一般社団法人日本船主協会会長
一般社団法人日本外航客船協会会長
一般社団法人日本旅客船協会会長
一般社団法人日本長距離フェリー協会会長
一般社団法人大日本水産会会長
一般社団法人日本港湾タグ事業協会会長
日本内航海運組合総連合会会長
全日本海員組合組合長

殿

国土交通省海事局船員政策課長

船員法施行規則及び船員労働安全衛生規則の一部を改正する省令の運用について

「船員法施行規則及び船員労働安全衛生規則の一部を改正する省令」（平成26年12月8日国土交通省令第92号）が公布され、平成27年1月1日（「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律」（平成26年法律第115号）に伴う改正にあつては同年1月21日）に施行されることについて、「船員法施行規則及び船員労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行等について」（平成26年12月8日付け国海員第262号の2）にて御連絡したところです。

今般の省令改正事項の取り扱いについては、下記のとおりとしますので、（その適正かつ確実な実施が図られるよう、貴傘下会員への周知方よろしくお取り計らい願います。）（ご了知願います。※組合用）

記

1. 非常配置表（船員法施行規則（以下「規則」という。）第3条の3関係）

規則第3条の3第1項各号に規定する船舶は、非常配置表に、密閉された区画（以下「密閉区画」という。）における救助作業について海員の配置を定めることとする。

ここでいう「密閉区画」とは、以下の3つの性質の内、いずれかを有する区画をいう。

- ・ 出入口の開口部が十分でない
- ・ 換気が不十分

- ・作業員による継続的な使用が意図されていない

例) 貨物区画、二重底、燃料タンク、バラストタンク、貨物ポンプ室、貨物圧縮機室、コファダム、錨鎖庫、ボイドスペース、ダクトキール、インターバリアスペース、ボイラー、機関クランク室、機関掃気だめ、汚水槽、隣接する関連区画等

ただし、当該区画は、各船舶の構造を考慮した上で、各船舶毎に決定することを要する。

非常配置表については、新たに定め、船内に掲示する必要があることに鑑み、平成27年2月28日までの間は、指導啓蒙期間とします。

2. 密閉区画における救助操練（規則第3条の4関係）

規則第3条の4第1項及び第5項の規定により、船員法の適用がある全ての船舶は、密閉区画における救助操練として、有効な保護具、船内通信装置及び担架などの救助器具を使用するとともに、怪我の応急手当や心肺蘇生等の救急措置の操練を行うこととする。

なお、当該操練は、密閉区画において実施する必要はなく、密閉区画と仮定した場所で実施して差し支えない。

当該操練の実施における密閉区画への立ち入りに関する安全管理及び注意事項については、IMO総会決議が発出されているので参考とされたい。

また、法令に基づく呼吸具等の保護具の備え付け義務がある船舶にあつては、当該保護具を用いて当該操練を実施することとし、それ以外の船舶にあつては、救急措置の実施可能な範囲で当該操練を実施することとする。

3. 避難の操練（規則第3条の4第7項関係）

今般の省令改正は、旅客に対する操練の実施時期を「旅客の乗船後24時間以内」から「旅客の乗船後最初の出港の前又は当該出港の後直ちに」へ変更したものであり、当該操練の対象船舶に変更はない。

なお、「出港後24時間を超えて船内にいることが予定される旅客が乗船するもの」を追記した趣旨は、従来より当該操練は、国際航海に従事し、出港後24時間を超えて旅客が船内にいることが予定される船舶に対して適用されてきたが、その旨を明確化するためである。

4. 航海中におけるくん蒸（船員労働安全衛生規則第71条、規則第11条関係）

三国間輸送を行う船舶等で航海中に貨物のくん蒸を船員が実施する必要がある場合、くん蒸を実施する区画に隣接した区画や居住区等のくん蒸に使用した薬品が漏れることにより危害が発生するおそれのある場所において、航海中少なくとも8時間に1回くん蒸に使用した薬品の量について検知を行い、検知した結果を航海日誌に記載することとする。

また、当該区画において、くん蒸に使用した薬品を検知した場合、船内の換気、薬品の漏出した箇所の特特定、薬品漏出防止措置等の安全対策を講じることとする。